

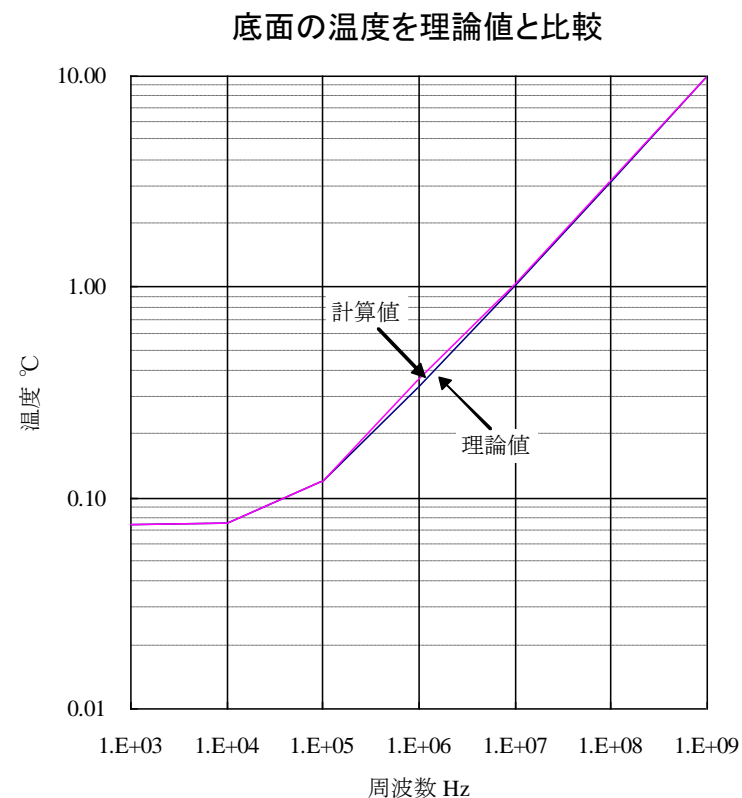
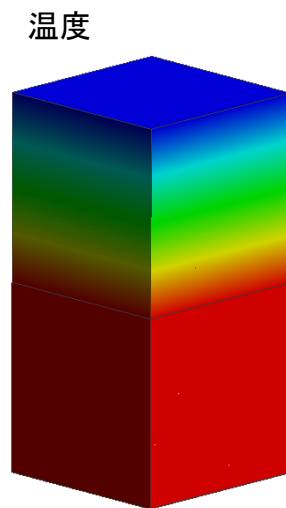
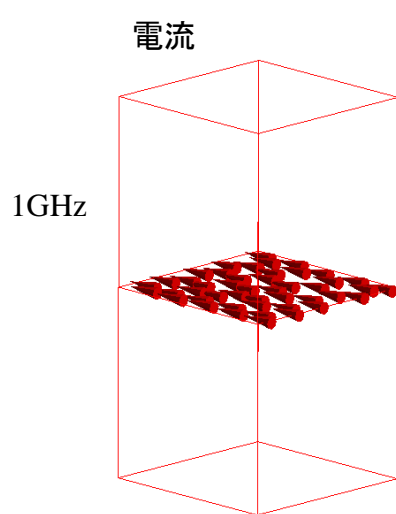
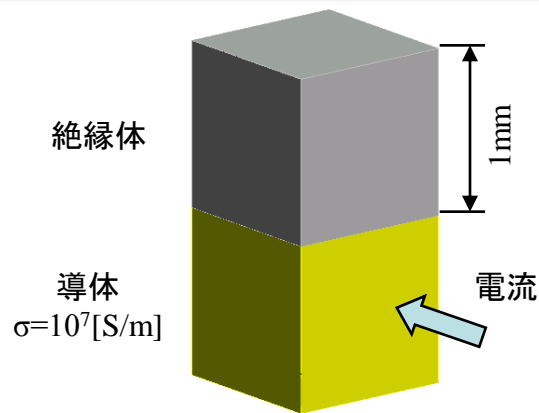
Femtet[®] Ver8.2

新機能/変更点のご紹介

機能	概要
解析機能	<ul style="list-style-type: none">• <u>磁場-熱伝導解析にて、高周波での熱伝導解析の精度改善</u>• <u>既存メッシュや変位メッシュからの再計算機能を追加</u>
プリ・ポストプロセッサ	<ul style="list-style-type: none">• <u>全ウィンドウの視点を同期する機能を追加</u>• <u>視点回転機能の改良</u>• <u>垂線,平行線,接線の作図</u>

磁場／熱伝導解析 – 高周波での熱伝導解析精度の改善

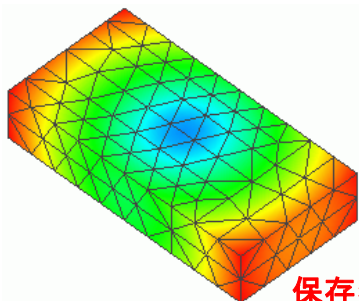
高周波で精度よく熱伝導解析ができるようになりました。
表皮厚み部分に膜要素が自動作成される事で精度良い解析が可能です。



- ・既存のメッシュデータ(pdtファイル)を用いた解析が可能になりました。
- ・変位量を持つ解析結果は、変位メッシュデータも出力されるようになりました。
- ・これにより、変位メッシュによる再計算が可能になりました。

実行例

変位量を含む計算結果を保存

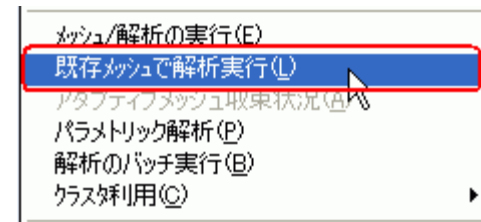


保存名 + (変位メッシュ).pdtが
同時に自動保存されます

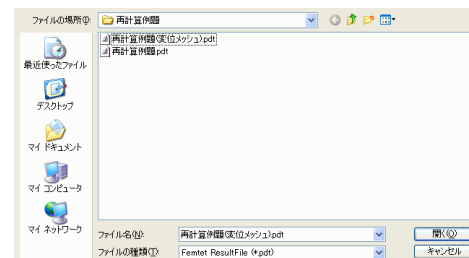
解析条件を変更



「解析」メニューの
「既存メッシュで解析実行」をクリック



変形後のメッシュデータを持つ
計算結果ファイルを指定



保存名 + (変位メッシュ).pdtを選択

プリポストプロセッサ – 全ウィンドウの視点を同期する機能を追加

現在操作しているウィンドウの視点と、全ウィンドウの視点を同期できるようにしました。

例

モデルと計算結果を同じ視点で比較したい・・・

Ver8.1

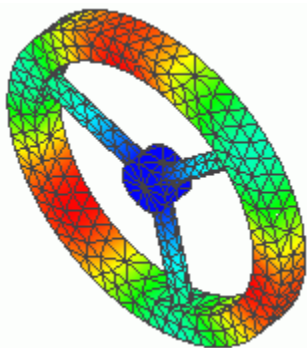
全ウィンドウの視点を個別に変更しなければならない。

Ver8.2

操作中のウィンドウの視点に自動的に変更される。

モデル

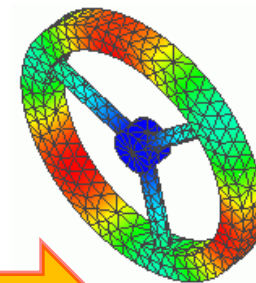
計算結果



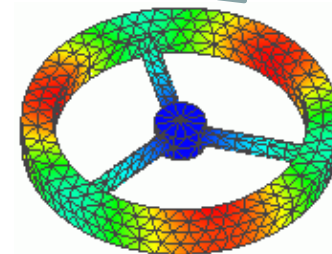
モデルの
視点を変更



同期



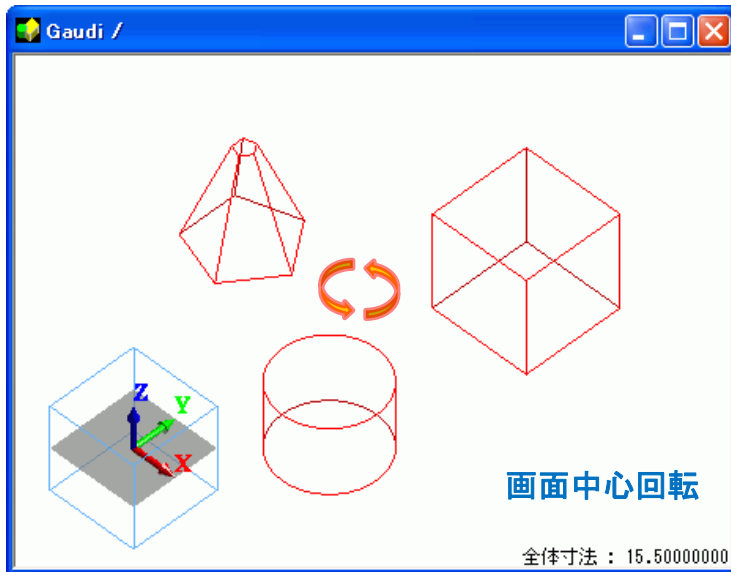
自動的に
視点が変更



視点を回転する際にボディやトポロジを選択する事で、
回転中心や回転軸を指定できるようになりました。

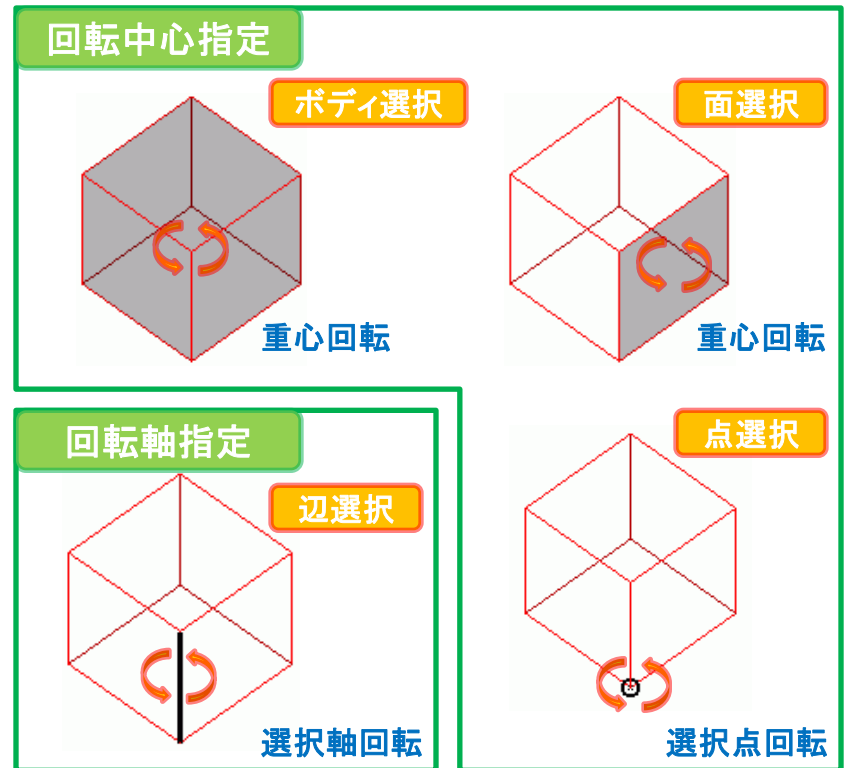
Ver8.1

画面中心のみでしか回転できない・・・



Ver8.2

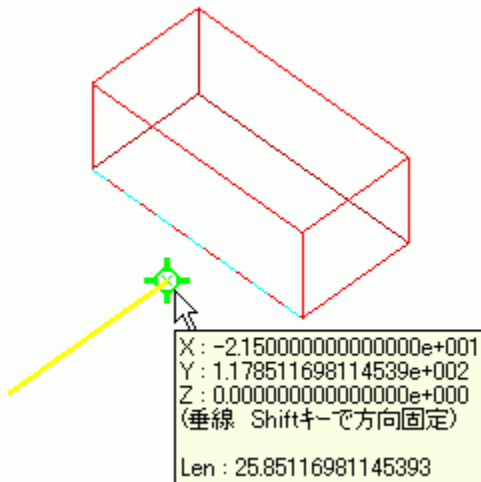
回転中心や回転軸を指定して回転できる！



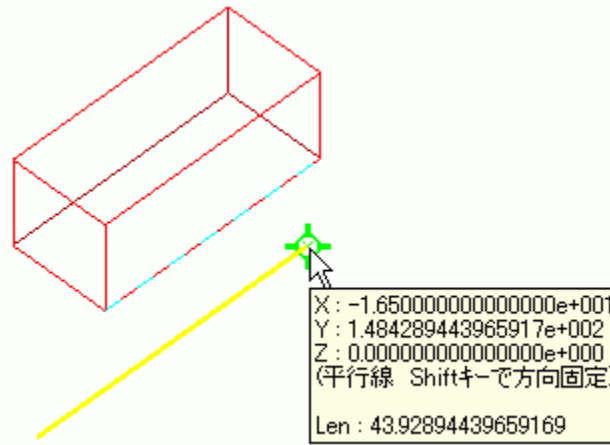
直線スケッチに垂線、平行線、接線スナップが追加され、
作図の利便性が向上されました。



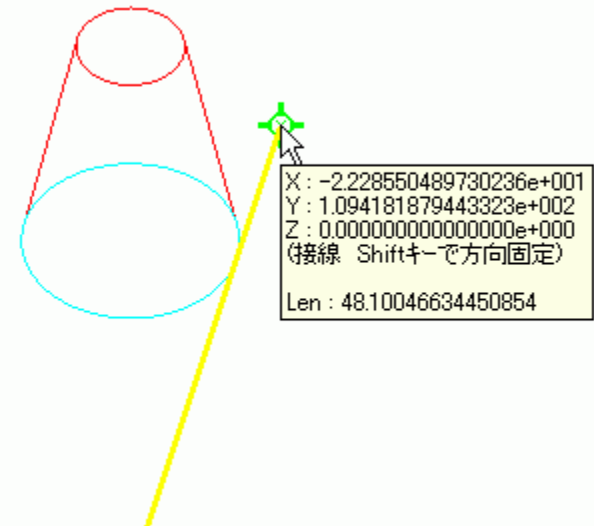
垂線



平行線



接線



垂線、平行線、接線の対象がハイライトされます。

垂線、平行線、接線がスナップされた状態で、Shiftキーを押しながら
マウスをドラッグすると、直線方向を固定して作図することができます。